

令和元年度 決算

問合せ
財政課
☎ 73-8008

一般会計の歳入の決算額は、市税や国・県支出金の減などにより、前年度と比較して微減となりました。

歳出の決算額は、国営九頭竜川下流土地改良事業や金津小学校プール改築事業などを実施しましたが、福井しあわせ元気国体経費や石塚橋架替事業の減により、前年度と比較して微減となりました。

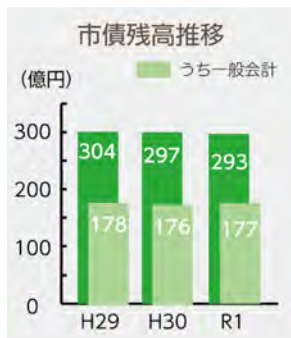
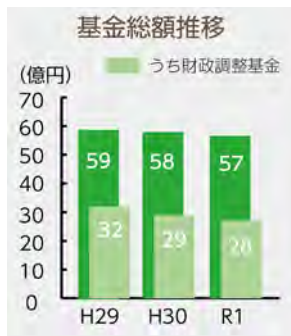
市の貯金ー基金残高

15種類ある基金（貯金）の総額は、約57億4000万円となっています。そのうち49%を占めるのが、市の財政をやりくりするための貯金である「財政調整基金」です。令和元年度は、7800万円を取り崩しています。

市の借金ー市債残高

市の借金である市債の現在高は約292億5000万円です。令和元年度は、一般会計で約7000万円増加しており、その他の会計では約4億9000万円減少しています。

公共施設の建設や改修の際に長期的な借金をする理由は、建設時の納税者だけではなく、施設を利用する次の世代にも負担を求めることで世代間の公平性を保つためです。

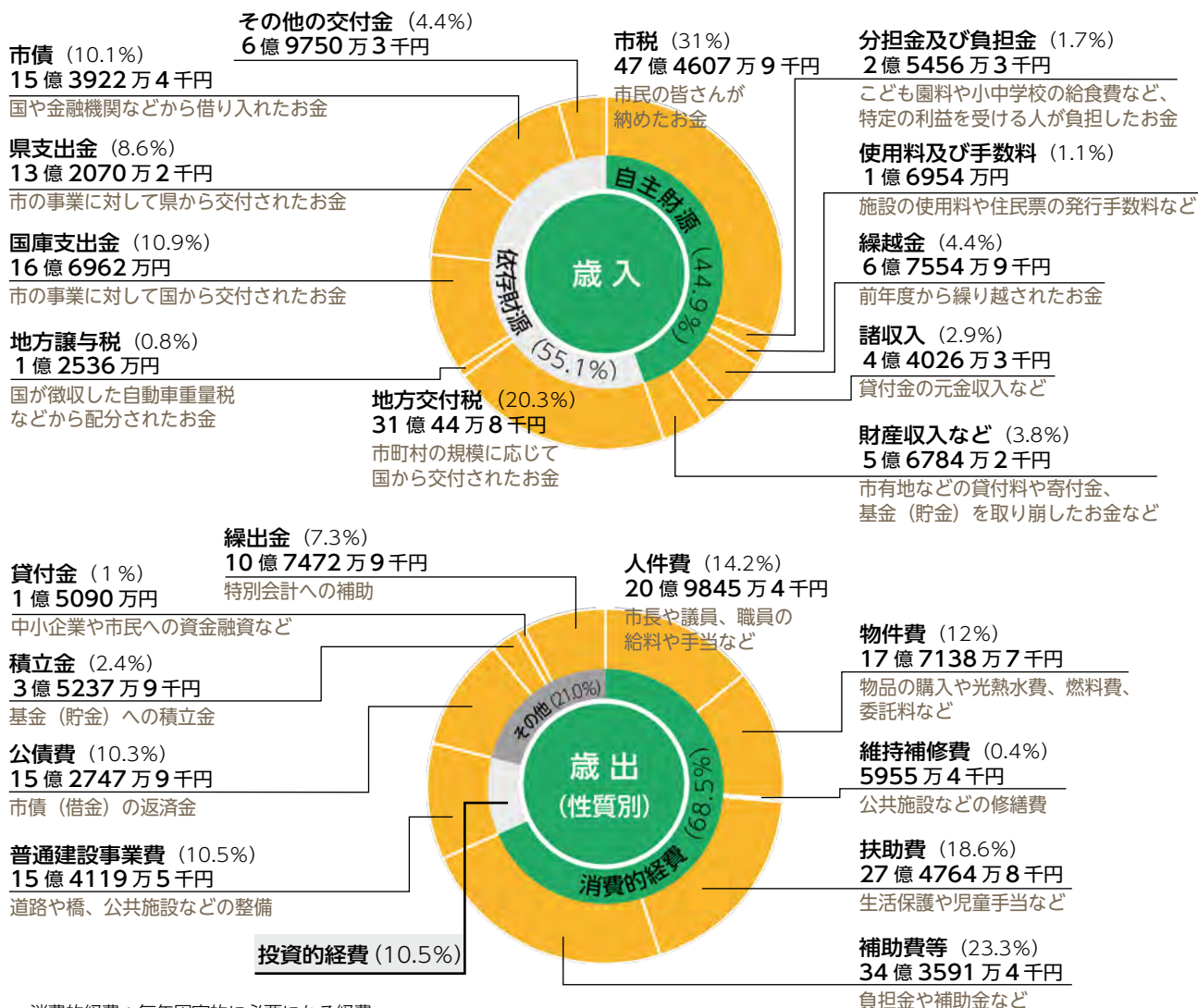


一般会計歳入決算額

153 億 669 万 3 千円
(対前年度比 0.7%減)

一般会計歳出決算額

147 億 5963 万 9 千円
(対前年度比 0.1%減)



※ 消費的経費：毎年固定的に必要な経費。

投資的経費：道路、公園、学校などの整備に対する経費。普通建設事業費と災害復旧費からなる。

各会計の決算額 (単位：千円)

	歳入総額 A	歳出総額 B	差 引 C = A - B	繰越すべき財源 D	実質収支 C - D
一般会計 (市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計)	15,306,693	14,759,639	547,054	49,091	497,963
特別会計 (保険料などの特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています)					
国民健康保険特別会計	3,039,522	3,018,062	21,460	0	21,460
後期高齢者医療特別会計	353,584	353,272	312	0	312
農業者労働災害共済特別会計	1,830	1,539	291	0	291
企業会計 (一般の会社と同じように、独立した収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)					
水道事業会計	収益的収支	807,126	732,612	74,514	0
	資本的収支	53,021	192,167	△ 139,146	2,014
公共下水道事業会計	収益的収支	1,301,277	1,270,843	30,434	0
	資本的収支	609,377	1,065,802	△ 456,425	75,141



歳出を目的別で見た決算額と市民1人当たりの決算額

※（ ）内は1人当たりの決算額。令和2年3月31日現在の
住民基本台帳人口（2万7902人）で計算しています。

民生費 46億6846万2千円 (16万7316円) 認定こども園運営、 障害者・高齢者福祉など	土木費 18億5758万3千円 (6万6575円) 道路、橋、公園、市営 住宅の整備や維持管理など	公債費 15億2747万9千円 (5万4744円) 市債（借金）の返済
農林水産業費 14億2300万1千円 (5万1000円) 農林水産業の振興や農道、 排水施設の整備など	教育費 13億7889万9千円 (4万9419円) 学校、公民館、体育施設 の整備や維持管理など	総務費 13億1225万2千円 (4万7031円) 戸籍や住民票の管理、 防犯対策、財産管理など
衛生費 7億4547万8千円 (2万6718円) ごみ処理、予防接種、 妊婦・乳児健診など	消防費 6億6784万3千円 (2万3935円) 消防施設や災害対策など	商工費 6億63万8千円 (2万1527円) 企業誘致、商工業の振興、 観光推進など
議会費 1億6254万3千円 (5825円) 議会の運営	労働費 5230万5千円 (1875円) 雇用対策、市民への 生活資金融資など	その他 3億6315万6千円 (1万3016円) 基金（貯金）への積立金 や災害復旧費など

目的別で見ると、民生費が全体の約3分の1を占めています。
これは認定こども園運営や児童手当、医療・介護保険、生活保護など福祉事業の比重が大きいです。

歳出決算額（目的別）
147億5963万9千円
市民1人当たりの決算総額
52万8981円



あわら市の健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率

区 分	早期健全化基準	財政再生基準	R1
実質赤字比率	13.64%	20.00%	(赤字なし)
連結実質赤字比率	18.64%	30.00%	(赤字なし)
実質公債費比率	25.0%	35.0%	7.0%
将来負担比率	350.0%	(基準なし)	46.1%

※ 早期健全化基準は、各市町村の財政規模に応じて異なり、
表中の基準はあわら市に適用される基準です。

資金不足比率

全ての公営企業会計（水道事業会計・公共下水道事業会計）
において、資金不足は発生していません。

令和元年度決算に基づく各指標は次のとおりで、いずれの比率も基準以下となっています。

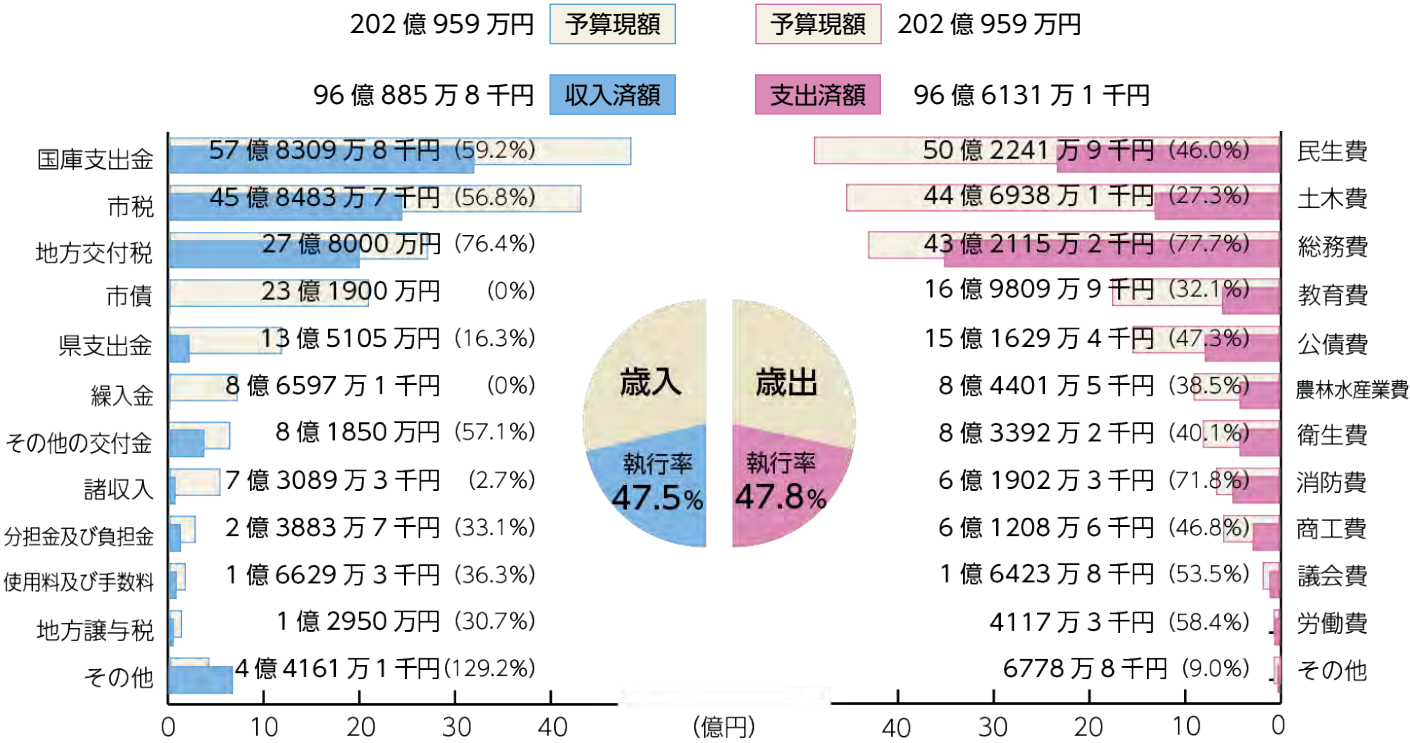


あわら市は
基準をクリア
しています

令和2年度上半期の 予算執行状況 をお知らせします

一般会計歳入歳出予算執行状況（令和2年9月末現在）

グラフの数値は予算現額、（ ）内は執行率です。



※ 予算現額には令和元年度からの繰り越し分を含んでいます。